

2008 秋冬版 いなば の～んびり歩こうや!

晩秋にたたずむ万葉の里を楽しみながら歩きますか?
《ガイドと歩く 秋の国府路》

案内人：いなば国府ガイドクラブ

- ▷と き 11月8日(土) 9:30～11:30、10:00～12:00
※雨天決行。2班に分かれてスタート
- ▷集 合 宮下地区公民館 ▷定 員 40人
- ▷参加料 200円 ※小学生以下無料。
- ▷申し込み 11月6日(木)まで
※雨具を持参し、動きやすい服装で参加ください。

「鹿野城下町歩き。」(ふるさとガイド勉強会)

400年の歴史を今に伝える鹿野町を観光ガイドと一緒に歩き、ふるさとの良さを見直しましょう。

- ▷と き 11月14日(金) 13:30～15:00
- ▷集 合 鹿野町総合支所 ▷参加料 500円※おやつ代含む
- ▷コース 支所→城下町→城山麓→いぎの堤→支所
- ▷講 師 ぷらっとしかのガイドの会

アンコール企画 荒木又右衛門ゆかりの地めぐり

- ▷と き 11月16日(日) 8:45～12:00
- ▷集 合 市役所本庁舎前 ▷定 員 25人(先着順)
- ▷参加料 500円 ※玄忠寺入館料含む
- ▷コース 玄忠寺→興禅寺→池田家墓所 ほか
- ▷講 師 鳥取市観光ガイド友の会
※マイクロバス利用となります。必ず申し込みください。

上記3件の問い合わせ先

鳥取市観光協会 ☎(0857) 26-0756

「魅力満載、万葉のふるさと国府」
—史跡と紅葉を探索—

奈良時代には因幡の国府が置かれ、また、「日本の滝百選」の1つ「雨滝」など景勝地の宝庫でもある国府町で史跡と紅葉を探索しませんか?

- と き 11月15日(土) 9:00～16:30
- 集 合 市役所本庁舎玄関もしくは国府町総合支所
- 定 員 40人 ※先着順
- 参加費 1000円(昼食代)
- コース 池田家墓所→宇倍神社→因幡国庁跡→大伴家持歌碑→扇の里交流館(昼食)→雨滝→殿ダム工事関係→学行院→岡益石堂→市役所
- 申し込み 11月10日(月)までに問い合わせ先へ
※飲みもの・雨具などは各自で準備してください。
- 問い合わせ先 国府町総合支所地域振興課
☎(0857) 39-0555

図書館だより

- 中央図書館 ☎(0857) 27-5182 開館時間 9:00～19:00
(土・日曜は17:00まで)
- 気高図書館 ☎(0857) 37-6036 開館時間 10:00～18:00
- 用瀬図書館 ☎(0858) 87-2702 開館時間 10:00～18:00
※休館日は、毎週火曜日、毎月最終の木曜日、祝日の翌日(中央図書館は除く)

「子どもと本の出会い」の講座(第6回)

- ▷と き 11月13日(木) 13:30～15:00
- ▷と ころ 気高図書館 2階会議室
- ▷テマ ものがたりの本について
- ▷講 師 末宗辰彦さん(子どもの文化講座主宰)
- ※事前申し込み不要。直接会場へお越し下さい。

鳥取市の青少年のためのオーサー・ビジット事業

- ▷と き 11月21日(金) 14:00～15:30
- ▷と ころ 用瀬地区保健センター
- ▷演 題 「昔話が語る子どもの姿」
- ▷講 師 小澤俊夫さん(元筑波大学副学長)
- ※どなたでも参加できますが、事前予約が必要です。
- 申し込み・問い合わせ先 用瀬図書館 ☎上記

グリムの昔話のおはなし会

- ▷と き 11月22日(土) 13:30～16:00
- ▷と ころ 中央図書館 おはなしの部屋
- ▷語り手 読み聞かせボランティア、中央図書館司書
- ※どなたでも参加できます。

第1回「とっとり手づくり絵本コンクール」
応募作品の展示会

- ◆表彰式
▷と き 11月23日(日・祝) 10:00～10:30
▷と ころ 中央図書館 多目的ホール
- ◆応募作品展示発表会
▷と き 11月23日(日・祝)～11月30日(日)
▷と ころ 中央図書館 多目的ホール

鳥取大学・とっとり駅南教室 ☆講話とおしゃべり

とき	講師・演題
第27回 12月6日(土)	住川英明さん(鳥取大学地域学部教授) 「高村光太郎の手紙を読む —手書き文字のたのしみとよこび」

時 間 13:30～15:00 ところ 中央図書館
参加費 無料 ※定員各40人程度。事前予約は必要ありません。

市民伝言板

市民のみなさんの自主的な活動をご紹介します。

とっとり議場シネマ

容:映画「歓喜の歌」「天然コケッコー」上映/時:11月2日(日)・3日(月・祝) ※上映時間は下記へお問い合わせください/所:鹿野町総合支所旧議場/連:とっとり議場シネマ実行委員会 ☎(090)7778-8792

0～3歳のためのお芝居 参加者募集

容:手づくり楽器とボイスパフォーマンスのお芝居/時:11月15日(土)・16日(日)11:00~/所:15日=鳥の劇場(鹿野)、16日=さわやか会館/対:0～3歳の子どもの保護者/料:一人500円/連:NPO法人こども未来ネットワーク ☎(0858)22-1960

出会う・遊ぶ・子どもの舞台芸術体験広場 IN とっとり

容:手品や曲芸などを、舞台のプロが教えます。/時:11月30日(日)10:00~/所:文化センター/料:一回200円/連:鳥取おやこ劇場 ☎(0857)24-6680

人形劇団ひぼたあむ 「かえるくん・かえるくん」

容:小さな子どもと見ることが出来る人形劇/時:12月5日(金)15:30~/所:わらべ館いべんとほーる/料:800円/連:鳥取おやこ劇場 ☎(0857)24-6680

※1月号に掲載を希望される人は、必要事項を記入し、11月25日(火)までに、ハガキかファクシミリ(0857-21-1594)または電子メール(shihou@city.tottori.tottori.jp)で秘書課広報室まで。

鳥取市の人口

男 : 95,717人 [-58]
女 : 103,104人 [-11]
合計 : 198,821人 [-69]
世帯数 : 76,024 [+15]

平成20年10月1日現在 [] 内は前月比
※住民登録人口と外国人登録人口を合計した
ものです。

鳥取市役所

☎(0857)22-8111(代)

☎(0857)20-3040

〒680-8571

(郵便物は郵便番号と課名のみで届きます)

本庁舎 尚徳町116番地

第2庁舎 上魚町39番地

駅南庁舎 富安二丁目138番地4

鳥取市ホームページアドレス

<http://www.city.tottori.tottori.jp/>

音声読み上げなどの支援機能があります

ホームページ抜粋版

(携帯電話対応アドレス)

<http://www.city.tottori.tottori.jp/mobile/>

電子メール

kouhou@city.tottori.tottori.jp

各総合支所

国府☎(0857)39-0555

福部☎(0857)75-2811

河原☎(0858)76-3111

用瀬☎(0858)87-2111

佐治☎(0858)88-0211

気高☎(0857)82-0011

鹿野☎(0857)84-2011

青谷☎(0857)85-0011

編集・発行

鳥取市企画推進部秘書課広報室

☎(0857)20-3159

印刷/日ノ丸印刷株式会社

お持ち帰り用の市報を、地区公民館などに
設置しております。どうぞご利用ください。

市長からの手紙

Vol.31



お試し定住体験施設「しかの宿」
オープン (H20.7.26)

協働のまちづくりで活力ある中山間地域へ!

本市は、平成20年度を「協働のまちづくり元年」として位置づけ、運動を展開しています。地域の身近な問題や課題を市民と市役所が一緒になって解決し、住み良いまちをめざす協働のまちづくりを基本にする「鳥取市自治基本条例」が今年10月1日に施行されました。

「中山間地域の振興」にとっても「協働のまちづくり」が重要であると考えます。地域にある地区公民館を活かし、「まちづくり協議会(仮称)」をつくり、地域の課題に取り組む体制づくりがはじまっています。

地域に応じた生活交通を確保するため、10月1日から、気高地域では循環バスのルート拡充・増便を、河原地域と国府地域ではバス代替タクシーの運行支援を、路線バス廃止と同時に開始しました。そのほか、住民参加型による有償ボランティアバスの本格運行の早急な実施をめざしています。これらの公共的な交通機関が、これまで以上に利用されるよう各地域で努力していただきたいものです。

各地域の伝統的な生活文化の素晴らしさを再認識し、磨きをかけて活性化に結びつけるといった観点から、「スローライフのまちづくり」(※)も本市全体で進めています。都市住民が農作業の体験やその地域の歴史や自然に親しむ「グリーンツーリズム」による交流事業の促進をはじめ、UJIターナーを受け入れる空家を提供する自治会や空家所有者への支援や、就農定住をめざす「とっとりふるさと就農舎」の取り組みも行っています。さらに各総合支所の地域について、今年5月に策定した「地域振興プラン」に基づき、さまざまな振興事業を展開します。

来年度は、本市待望の「鳥取自動車道」がほぼ開通し、「2009鳥取・因幡の祭典」が行われます。今こそ、地域の特産品や観光施設など、魅力的な資源を活かしながら、協働のまちづくりの精神で、中山間地域の振興を進めていこうではありませんか。

竹内 功

※「スローライフのまちづくり」:一人ひとりが地域に誇りを持ち、より人間らしく自然に、ゆっくりゆったりと、豊かな心で生きていけるような地域社会を築くこと